

調査計画

1 調査の名称

住生活総合調査

2 調査の目的

本調査は、居住環境を含めた住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度等を把握し、住生活基本法及び同法に基づく住生活基本計画を踏まえた住生活の安定・向上に係る総合的な施策を推進する上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲 : 全国

(2) 属性的範囲 : 平成30年に総務省統計局が行う住宅・土地統計調査の調査対象世帯

4 報告を求める者

(1) 数 : 約12万世帯

母集団数 : 約320万世帯

(2) 選定の方法 (□全数 ■無作為抽出 □有意抽出)

住宅・土地統計調査の調査区(各調査区・約50世帯)のうち、甲票の対象となる世帯を母集団とし、以下のとおり抽出する。

- ① 1調査区当たりの標本数を8世帯とした上で、所要の結果精度を確保するために必要な調査区数(約1万)を抽出。(詳細は、別添1「標本の抽出方法及び推計方法」を参照)
- ② 調査票の想定回収率を約67%とし、1調査区当たりの報告者を12世帯と設定(8世帯÷約67%=12世帯)。その結果として、報告者は約1万調査区×12世帯=約12万世帯となる。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

I 現在の住宅と、住宅まわりの環境の評価について

住宅及び住環境の総合評価(満足度)、住宅の評価(満足度)、住環境の評価(満足度)、住宅の要素別評価(満足度)、住環境の要素別評価(満足度)、住宅及び住環境の重要と思うもの

II 現在のお住まい、以前のお住まいについて

住み替えの目的・理由、住み替えに要した費用、住み替え前の住宅の居住期間、住み替え前の住宅の床面積

Ⅲ 今後のお住まい方について

現在の住宅への継続居留意向、住み替えの目的、住み替えの実現の時期、住み替えの内容、住み替えの実現上の課題、住み続けたい理由、住み続けた住宅が不要になった時の活用・処分等の見込み、今後のリフォーム・建て替えの意向、リフォーム・建て替えの目的、リフォーム・建て替えの実現の時期、リフォーム・建て替えの内容、リフォーム・建て替えの実現上の課題

Ⅳ 子どもとの住まい方について

高齢期における子との住まい方

Ⅴ 住居費について

家賃や住宅ローン返済等の住居費負担についての負担感、毎月返済額、ボーナス返済額（年間）

Ⅵ 要支援・要介護認定について

介護認定の有無と度合い

Ⅶ 住宅の維持管理について

点検等の依頼先、毎月の管理費等

Ⅷ 住宅の相続について

将来、住宅を相続する可能性、将来相続する可能性がある住宅の建て方、将来相続する可能性がある住宅から現住居までの所要時間、将来相続する可能性がある住宅の公共交通機関との距離、将来相続する可能性がある住宅の建築時期、将来相続する可能性がある住宅の活用意向

（２）基準となる期日又は期間 ： 平成30年12月1日現在

6 報告を求めるために用いる方法

（１）調査組織 ： 国土交通省－民間事業者－報告者

（２）調査方法（ ■調査員調査 ■郵送調査 ■オンライン調査 □その他（ ） ）

国土交通省が業務を委託した民間事業者は、報告者に対し、ポスティングにより調査票を配布する。
報告者は記入済み調査票を郵送により提出する。

ただし、報告者が政府統計共同利用システムにより報告した場合は、政府統計共同利用システムから当該報告者に係る報告内容を入手する。

<民間事業者に委託する主な業務内容>

- ・報告者の選定
- ・報告者への事前周知
- ・報告者への調査票等の配布、調査票の回収・集計
- ・報告者へのお礼状を兼ねた催促状の発送

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期 : 5年

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限 : 平成30年11月～12月

8 集計事項 : 別添3「集計事項一覧」のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 方法 : インターネット(国土交通省HP及びe-stat)により公表する。

(2) 期日 : 速報については平成32年(2020年)1月、確報については平成32年(2020年)8月に公表する。

10 使用する統計基準 :

本調査は、世帯を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に、統計基準を使用する余地が小さいことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間 :

a) 記入済み調査票 2年

b) 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体 常用

(2) 保存責任者 : 国土交通省住宅局住宅政策課長

標本の抽出方法及び推計方法

1 抽出の方針

平成 30 年住生活総合調査における標本抽出は、平成 30 年住宅・土地統計調査の調査区を第 1 次抽出単位とし、抽出された標本調査区内に常住する世帯を第 2 次抽出単位とする層化 2 段抽出法によって行う。

2 調査区の抽出方法

(1) 住宅・土地統計調査調査単位区の層化

平成 30 年住宅・土地統計調査の調査単位区を都道府県別、市部郡部別の 94 層とする。

(2) 標本調査区の抽出

層ごとに、平成 30 年住宅・土地統計調査の調査単位区から、定められた抽出率 $1/X$ により X の間隔で系統抽出する。ただし、郡部においては、 $4X$ の間隔で町村内の調査単位区を系統抽出し、抽出調査単位区のあった町村内から、4 調査区を無作為に抽出した。

注) 系統抽出法：全ての抽出単位に番号を付け、ある出発点から等間隔に個体を抽出することにより標本抽出を行う方法

(3) 目標精度

平成 25 年調査と同様に、「敷地やまわりのバリアフリー化の状況」について「満足」「まあ満足」と回答した世帯数の推計値について、目標精度を設定する。なお、住宅事情の違う地域ごとの精度と、地域別集計に関する集計区分毎の精度の両方を確保できるよう、下記の通り、大都市圏内外別・市部郡部別と地方ブロック別に目標精度を設定した。

大都市圏内外別・市部郡部別の目標制度については、住宅事情の変化が激しく住宅政策上の課題が多い市部については、調査精度を高めるため、標準誤差率を 1.1%以下とした。一方、郡部においては、市部と同様の標準誤差率を目標とすると実査負担が過大となることが想定されたため、その点も考慮し 2.2%以下とする。また、地方ブロック（10 区分）における標準誤差率が 2.2%以下とした。

上記設定により都道府県・市部群別に標本調査区数を求め、大きい方を採用した。

※大都市圏

東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、愛知県、岐阜県、三重県

※地方ブロック

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北関東・甲信：茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸：新潟県、富山県、石川県

中部：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(4) 計算式

平成 30 年住生活総合調査の標準誤差の計算式は、住宅・土地統計調査と同様に、平成 27 年国勢調査の調査区を第 1 次抽出単位、調査区内の世帯を第 2 次抽出単位とする層化二段抽出方法によるものとする。

注) 層化抽出法：母集団をいくつかの部分母集団に分割し、各部分母集団から標本を抽出する方法。

$$\sigma(\hat{p}) \approx \sqrt{\frac{M-m}{M} \cdot \frac{s_b^2}{m} + \frac{\bar{N}-\bar{n}}{\bar{N}} \cdot \frac{s_w^2}{m\bar{n}}}$$

M : 母集団調査区数

m : 標本調査区数

\bar{N} : 調査区内世帯数 (=50)

\bar{n} : 調査区内標本世帯数 (=8)

\hat{p} : 比率

$$s_b^2 = \frac{1}{m-1} \sum_{i=1}^m (\hat{p}_i - \hat{p})^2 \text{ (調査区間分散)}$$

$$s_w^2 = \frac{\bar{n}}{m(\bar{n}-1)} \sum_{i=1}^m \hat{p}_i (1 - \hat{p}_i) \text{ (調査区内分散)}$$

標準誤差率 = $\frac{\sigma(\hat{p})}{\hat{p}}$ これを展開し、調査区数 m が求められる。

$$m = \frac{s_b^2 + \frac{\bar{N}-\bar{n}}{\bar{N}} \cdot \frac{s_w^2}{\bar{n}}}{\sigma(\hat{p})^2 + \frac{s_b^2}{M}}$$

(5) 住生活総合調査の調査区数

平成 25 年住生活総合調査結果から、大都市圏内外別、市部郡部別の 4 層の \hat{p} 、 s_b^2 、 s_w^2 、調査区数 m は以下の通りとなる。

	$\frac{\sigma(\hat{p})}{\hat{p}}$	\hat{p}	M	s_b^2	s_w^2	m
大都市圏 市部	0.011	0.4704	523,941	0.0717	0.2028	3,456
大都市圏 郡部	0.022	0.4379	21,677	0.0488	0.2255	762
大都市圏以外 市部	0.011	0.4761	422,147	0.0512	0.2266	2,724
大都市圏以外 郡部	0.022	0.4795	69,610	0.0451	0.2336	622

また、同様に、地方ブロック別の 10 層の \hat{p} 、 s_b^2 、 s_w^2 、調査区数 m は以下の通りとなる。

	$\frac{\sigma(\hat{p})}{\hat{p}}$	\hat{p}	M	s_b^2	s_w^2	m
北海道	0.022	0.5126	51,023	0.0571	0.2205	626
東北	0.022	0.4890	70,062	0.0436	0.2355	587
南関東	0.022	0.4741	301,424	0.0698	0.2048	838
北関東・甲信	0.022	0.4802	72,837	0.0462	0.2321	629
中部	0.022	0.4813	114,702	0.0544	0.2227	691
北陸	0.022	0.5033	34,210	0.0471	0.2319	576
近畿	0.022	0.4661	180,886	0.068	0.2056	849
中国	0.022	0.4815	61,866	0.0514	0.2261	665
四国	0.022	0.4623	32,140	0.0535	0.2225	731
九州・沖縄	0.022	0.4871	118,225	0.0536	0.2238	669

上記を同時に満たす調査区数 m を求めたところ、9,269 区となった。

(6) 住宅・土地統計調査調査区から住生活総合調査調査区の抽出方法

上記の調査区 m は、母集団調査区 M から直接抽出するのではなく、母集団調査区 M から抽出された住宅・土地統計調査調査区から抽出した。都道府県および市部・郡部ごとに抽出率 $1/X$ を定め、 X の間隔で系統抽出した。

なお、実際には、住宅・土地統計調査の調査区の一部は、複数の調査単位区に分割されることから、住生活総合調査の調査区は、住宅・土地統計調査の調査単位区から抽出しており、調査区数は 9,688 区となった。

「大都市圏内外別、市部郡部別(a)」及び「地方ブロック別(b)」の
両方を同時に満たす「抽出調査区数(c)」

	(a) 大都市圏内外 × 市部郡部		(b) 地方ブロック		(c) 抽出調査区数(m)	
	市部	郡部	市部	郡部	市部	郡部
北海道	239	84	531	95	559	100
青森県	49	20	66	14	67	20
岩手県	66	18	89	13	90	20
宮城県	90	26	122	18	124	28
秋田県	56	8	76	5	78	8
山形県	47	14	64	10	65	16
福島県	68	25	92	17	94	28
茨城県	140	24	188	16	194	28
栃木県	71	20	95	14	98	20
群馬県	69	23	93	16	96	24
埼玉県	369	134	172	13	379	156
千葉県	324	47	151	4	333	56
東京都	603	22	281	2	620	28
神奈川県	443	82	207	8	456	96
新潟県	126	4	314	6	335	8
富山県	46	7	116	9	123	12
石川県	46	13	116	16	123	16
福井県	37	8	30	3	37	8
山梨県	52	9	70	6	71	12
長野県	84	26	112	18	115	28
岐阜県	117	77	92	12	120	92
静岡県	153	18	156	10	159	20
愛知県	409	115	320	18	420	132
三重県	96	49	75	8	98	60
滋賀県	63	5	52	2	63	8
京都府	186	35	118	4	191	40
大阪府	535	54	338	7	550	64
兵庫県	300	72	190	9	308	84
奈良県	73	77	46	10	74	92
和歌山県	41	17	33	7	42	20
鳥取県	22	10	39	9	40	12
島根県	37	5	67	5	69	8
岡山県	89	6	161	6	166	8
広島県	127	18	229	16	237	20
山口県	71	6	128	5	133	8
徳島県	37	13	136	24	137	24
香川県	35	13	129	24	130	24
愛媛県	60	12	224	23	225	24
高知県	40	12	148	23	149	28
福岡県	229	57	206	26	231	60
佐賀県	37	10	34	5	37	12
長崎県	66	11	59	5	66	12
熊本県	80	25	72	12	80	28
大分県	65	5	58	2	65	8
宮崎県	44	15	40	7	44	16
鹿児島県	91	15	82	7	91	16
沖縄県	50	22	45	10	50	24
計	6178	1388	6262	599	8032	1656
	7,566		6,861		9,688	

3 調査世帯の抽出方法

平成 30 年住宅・土地統計調査で調査対象となった住戸から 12 戸を系統抽出する。
なお、当該住戸に同居している世帯がある場合には、当該同居世帯についても調査世帯とする。

4 結果の推定方法

平成 30 年住生活総合調査における調査結果の推定方法は、平成 30 年住宅・土地統計調査における推計世帯数をベンチマークとする比推定とする。

(1) 推計地域の単位

各都道府県の市部、郡部を単位とする。なお、市区町村の行政区域は、平成 30 年 10 月 1 日現在による。

(2) 推定式

i : 推計地域

j : 住生活総合調査指定調査区

F_{ij} : i 推計地域 j 調査区の調査単位区における集計世帯数

S_{ij} : i 推計地域 j 調査区の調査単位区における当該集計項目の集計結果

C_{ij} : i 推計地域 j 調査区内の設定単位区数 (j 調査区の復元乗率)

T_i : i 推計地域 j 調査区における復元乗率

V_{ij} : i 推計地域 j 調査区内の調査単位区における復元乗率

P_i : i 推計地域の推計世帯数 (平成 25 年住宅・土地統計調査) とし、

$$X_i = \frac{P_i}{T_i \sum_j C_{ij} V_{ij} F_{ij}} \quad (i \text{ 推計地域の比推定用乗率})$$

$$Z_i = X_i T_i \sum_j C_{ij} V_{ij} S_{ij} \quad (i \text{ 推計地域の推計結果})$$

$$Z = \sum_i Z_i \quad (\text{推計結果}) \quad \text{により求める。}$$

i 推計地域における復元乗率 T_i は、

$$T_i = \frac{i \text{ 推計地域の国勢調査区数}}{i \text{ 推計地域の住生活総合調査指定調査区数}}$$

により求める。

i 推計地域 j 住総指定調査区における復元乗率 V_{ij} は、

$$V_{ij} = \frac{\text{調査単位区内の総住戸数}}{\text{調査単位区内の住宅・土地統計調査調査住戸数}} \times \frac{\text{調査単位区内の住宅・土地統計調査調査住戸のうち普通世帯の居住する住戸数}}{\text{調査単位区内の住生活総合調査住戸数}}$$

により求める。

集計事項一覧

表側の「基本属性」とは、地域（22区分）、住宅タイプ（14区分）*、世帯年収（10区分）*、家族構成（22区分）*、家計主の年齢（8区分）*、要介護認定者の有無（4区分）の計72区分。

*：住宅・土地統計調査の調査項目 △：住宅・土地統計調査と住生活総合調査の調査項目のクロス集計項目

表番号	表頭	表側
-----	----	----

I 住宅及び居住環境の満足度

(1) 総合満足度

表1	住宅及び居住環境の総合満足度	基本属性、家計を主に支える者の通勤時間(無職以外)*、居住面積水準状況(主世帯)△、住宅の取得方法(持家)*、子との現在の住まい方(家計を主に支える者が65歳以上)*
表2	住宅の満足度	基本属性、居住面積水準状況(主世帯)△、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、オートロックの別(共同住宅)*、腐朽・破損の有無(住宅)*、高齢者等のための設備状況(主世帯)*、住宅の取得方法(持家)*、子との現在の住まい方(家計を主に支える者が65歳以上)*、公共下水道の有無*
表3	居住環境の満足度	基本属性、家計を主に支える者の通勤時間(無職以外)*、住宅の取得方法(持家)*、子との現在の住まい方(家計を主に支える者が65歳以上)*、公共下水道の有無*、敷地に接している道路の幅員*

(2) 総合満足度と各要素の満足度、重要度との関係

表4	住宅及び居住環境の総合満足度	住宅及び居住環境の各要素の満足度(全要素)
表5	住宅の満足度	住宅及び居住環境の各要素の満足度(全要素)
表6	居住環境の満足度	住宅及び居住環境の各要素の満足度(全要素)
表7	住宅及び居住環境の総合満足度	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)
表8	住宅の満足度	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)
表9	居住環境の満足度	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)

(3) 各要素の満足度

表10	住宅の各要素の満足度①広さや間取り	基本属性、居住室数*、住宅の延べ面積(主世帯)*、居住面積水準状況(主世帯)△
表11	住宅の各要素の満足度②収納の多さ、使い勝手(同上)	基本属性、住宅の延べ面積(主世帯)*、居住面積水準状況(主世帯)△
表12	住宅の各要素の満足度③水回りの広さ、使い勝手	基本属性、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、台所の型(主世帯)*
表13	住宅の各要素の満足度④いたみの少なさ	基本属性、腐朽・破損の有無(住宅)*、建築の時期(主世帯)△、月あたりの管理費等(持家の共同住宅)
表14	住宅の各要素の満足度⑤維持管理のしやすさ	基本属性、腐朽・破損の有無(住宅)*、建築の時期(主世帯)△
表15	住宅の各要素の満足度⑥換気よさ(臭いや煙などが残らない)	基本属性、建築の時期(主世帯)△
表16	住宅の各要素の満足度⑦日当たり	基本属性、建築の時期(主世帯)△

表番号	表頭	表側
表17	住宅の各要素の満足度⑧断熱性	基本属性、建築の時期(主世帯)△、二重サッシ以上又は複層ガラスの窓の有無(主世帯)*
表18	住宅の各要素の満足度⑨省エネ性	基本属性、建築の時期(主世帯)△、太陽熱利用の温水機器等の有無(主世帯)*、太陽光を利用した発電機器の有無(主世帯)*、二重サッシ以上又は複層ガラスの窓の有無(主世帯)*
表19	住宅の各要素の満足度⑩高齢者への配慮(段差がない等)	基本属性、建築の時期(主世帯)△、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、高齢者等のための設備状況(主世帯)*
表20	住宅の各要素の満足度⑪地震時の安全性	基本属性、腐朽・破損の有無(住宅)、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、建築の時期(主世帯)△
表21	住宅の各要素の満足度⑫台風時の安全性	基本属性、腐朽・破損の有無(住宅)*、建築の時期(主世帯)△
表22	住宅の各要素の満足度⑬火災に対する安全性	基本属性、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、建築の時期(主世帯)△
表23	住宅の各要素の満足度⑭防犯性	基本属性、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、オートロックの別(共同住宅)*、建築の時期(主世帯)△
表24	住宅の各要素の満足度⑮遮音性	基本属性、建築の時期(主世帯)△
表25	住宅の各要素の満足度⑯プライバシー確保	基本属性、建築の時期(主世帯)△
表26	居住環境の各要素の満足度①通勤、通学の利便	基本属性、家計を主に支える者の通勤時間(無職以外)*、最寄りの交通機関までの距離*、最寄りの小学校までの距離*、最寄りの中学校までの距離*、DID区域、役所からの距離
表27	居住環境の各要素の満足度②日常の買物などの利便	基本属性、最寄りの郵便局・銀行までの距離*
表28	居住環境の各要素の満足度③医療・福祉・文化施設など	基本属性、最寄りの医療機関までの距離*、最寄りの公民館・集会所までの距離*、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離*、DID区域、役所からの距離
表29	居住環境の各要素の満足度④福祉・介護の生活支援サービス	基本属性、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、最寄りの医療機関までの距離*、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離*、子との現在の住まい方*、DID区域、役所からの距離
表30	居住環境の各要素の満足度⑤子どもの遊び場、子育て支援サービス	基本属性、最寄りの公園までの距離、最寄りの保育所までの距離*、DID区域、役所からの距離
表31	居住環境の各要素の満足度⑥親・子・親せきとの距離	基本属性、子との現在の住まい方*、DID区域、役所からの距離
表32	居住環境の各要素の満足度⑦治安	基本属性、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、DID区域、役所からの距離
表33	居住環境の各要素の満足度⑧近隣の人やコミュニティとの関わり	基本属性、家計を主に支える者の入居時期*、DID区域、役所からの距離
表34	居住環境の各要素の満足度⑨歩行時の安全性	基本属性、敷地に接している道路の幅員*、最寄りの幅員6m以上の道路までの距離*、DID区域、役所からの距離
表35	居住環境の各要素の満足度⑩災害時の避難のしやすさ	基本属性、敷地面積に対する延べ面積の割合(主世帯)*、敷地に接している道路の幅員*、都市計画の地域区分・防火地域*、最寄りの緊急避難所までの距離*、最寄りの幅員6m以上の道路までの距離*、DID区域、役所からの距離
表36	居住環境の各要素の満足度⑪水害・津波の受けにくさ	基本属性、敷地面積に対する延べ面積の割合(主世帯)*、敷地に接している道路の幅員*、都市計画の地域区分・防火地域*、最寄りの緊急避難所までの距離*、最寄りの幅員6m以上の道路までの距離*

表番号	表頭	表側
表37	居住環境の各要素の満足度⑫周辺からの延焼のしにくさ	基本属性、敷地面積に対する延べ面積の割合(主世帯)*、敷地に接している道路の幅員*、都市計画の地域区分・防火地域*、最寄りの緊急避難所までの距離*、最寄りの幅員6m以上の道路までの距離*
表38	居住環境の各要素の満足度⑬騒音・大気汚染の少なさ	基本属性、都市計画の地域区分・防火地域*、DID区域、役所からの距離
表39	居住環境の各要素の満足度⑭敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり	基本属性、敷地面積(住宅)*、調査区の建ぺい率*、調査区の容積率*、敷地に接している道路の幅員*、DID区域、役所からの距離
表40	居住環境の各要素の満足度⑮公園や緑、水辺などの自然環境	基本属性、敷地に接している道路の幅員*、DID区域、役所からの距離
表41	居住環境の各要素の満足度⑯まちなみ・景観	基本属性、敷地に接している道路の幅員*、DID区域、役所からの距離

(4) 各要素の重要度

表42	住宅の各要素の重要度①広さや間取り	基本属性、居住室数*、住宅の延べ面積(主世帯)*、建築面積(主世帯)*、敷地面積に対する建築面積の割合(主世帯)*、居住面積水準状況(主世帯)△、住宅の各要素の満足度①住宅の広さや間取り
表43	住宅の各要素の重要度②収納の多さ、使い勝手(同上)	基本属性、住宅の延べ面積(主世帯)*、居住面積水準状況(主世帯)△、住宅の各要素の満足度②収納の多さ、使い勝手
表44	住宅の各要素の重要度③水回りの広さ、使い勝手	基本属性、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、台所の型(主世帯)*、住宅の各要素の満足度③水回りの広さ、使い勝手
表45	住宅の各要素の重要度④いたみの少なさ	基本属性、腐朽・破損の有無(住宅)*、建築の時期(主世帯)△、月あたりの管理費等(持家の共同住宅)、住宅の各要素の満足度④住宅のいたみの少なさ
表46	住宅の各要素の重要度⑤維持管理のしやすさ	基本属性、腐朽・破損の有無(住宅)*、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑤維持管理のしやすさ
表47	住宅の各要素の重要度⑥換気のよさ(臭いや煙などが残らない)	基本属性、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑥換気のよさ
表48	住宅の各要素の重要度⑦日当たり	基本属性、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑦日当たり
表49	住宅の各要素の重要度⑧断熱性	基本属性、建築の時期(主世帯)△、二重サッシ以上又は複層ガラスの窓の有無(主世帯)*、住宅の各要素の満足度⑧断熱性
表50	住宅の各要素の重要度⑨省エネ性	基本属性、建築の時期(主世帯)△、太陽熱利用の温水機器等の有無(主世帯)*、太陽光を利用した発電機器の有無(主世帯)*、二重サッシ以上又は複層ガラスの窓の有無(主世帯)*、住宅の各要素の満足度⑨省エネ性
表51	住宅の各要素の重要度⑩高齢者への配慮(段差がない等)	基本属性、建築の時期(主世帯)△、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、高齢者等のための設備状況(主世帯)*、住宅の各要素の満足度⑩高齢者への配慮
表52	住宅の各要素の重要度⑪地震時の安全性	基本属性、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)、腐朽・破損の有無(住宅)*、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑪地震時の安全性
表53	住宅の各要素の重要度⑫台風時の安全性	基本属性、腐朽・破損の有無(住宅)*、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑫台風時の住宅の安全性
表54	住宅の各要素の重要度⑬火災に対する安全性	基本属性、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑬火災に対する安全性
表55	住宅の各要素の重要度⑭防犯性	基本属性、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、オートロックの有無(共同住宅)*、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑭防犯性

表番号	表頭	表側
表56	住宅の各要素の重要度⑮遮音性	基本属性、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑮遮音性
表57	住宅の各要素の重要度⑯プライバシー確保	基本属性、建築の時期(主世帯)△、住宅の各要素の満足度⑯プライバシー確保
表58	居住環境の各要素の重要度①通勤、通学の利便	基本属性、家計を主に支える者の通勤時間(無職以外)*、最寄りの交通機関までの距離*、最寄りの小学校までの距離*、最寄りの中学校までの距離*、居住環境の各要素の満足度①通勤、通学の利便
表59	居住環境の各要素の重要度②日常の買物などの利便	基本属性、最寄りの医療機関までの距離*、最寄りの公民館・集会所までの距離*、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離*、最寄りの郵便局・銀行までの距離*、居住環境の各要素の満足度②日常の買物などの利便
表60	居住環境の各要素の重要度③医療・福祉・文化施設など	基本属性、最寄りの医療機関までの距離*、最寄りの公民館・集会所までの距離*、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離*、最寄りの郵便局・銀行までの距離*、居住環境の各要素の満足度③医療・福祉・文化施設など
表61	居住環境の各要素の重要度④福祉・介護の生活支援サービス	基本属性、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、最寄りの医療機関までの距離*、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離*、子との現在の住まい方*、居住環境の各要素の満足度④福祉・介護の生活支援サービス
表62	居住環境の各要素の重要度⑤子どもの遊び場、子育て支援サービス	基本属性、最寄りの公園までの距離、最寄りの保育所までの距離*、居住環境の各要素の満足度⑤子どもの遊び場、子育て支援サービス
表63	居住環境の各要素の重要度⑥親・子・親せきとの距離	基本属性、子との現在の住まい方*、居住環境の各要素の満足度⑥親・子・親せきとの距離
表64	居住環境の各要素の重要度⑦治安	基本属性、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、居住環境の各要素の満足度⑦治安
表65	居住環境の各要素の重要度⑧近隣の人やコミュニティとの関わり	基本属性、家計を主に支える者の入居時期*、居住環境の各要素の満足度⑧近隣の人やコミュニティとの関わり
表66	居住環境の各要素の重要度⑨歩行時の安全	基本属性、敷地に接している道路の幅員*、最寄りの幅員6m以上の道路までの距離*、居住環境の各要素の満足度⑨歩行時の安全
表67	居住環境の各要素の重要度⑩災害時の避難のしやすさ	基本属性、敷地面積に対する延べ面積の割合(主世帯)*、敷地に接している道路の幅員*、都市計画の地域区分・防火地域*、最寄りの緊急避難所までの距離*、最寄りの幅員6m以上の道路までの距離*、居住環境の各要素の満足度⑩災害時の避難のしやすさ
表68	居住環境の各要素の重要度⑪水害・津波の受けにくさ	基本属性、敷地面積に対する延べ面積の割合(主世帯)*、敷地に接している道路の幅員*、都市計画の地域区分・防火地域*、最寄りの緊急避難所までの距離*、最寄りの幅員6m以上の道路までの距離*、居住環境の各要素の満足度⑪水害・津波の受けにくさ
表69	居住環境の各要素の重要度⑫周辺からの延焼のしにくさ	基本属性、敷地面積に対する延べ面積の割合(主世帯)*、敷地に接している道路の幅員*、都市計画の地域区分・防火地域*、最寄りの緊急避難所までの距離*、最寄りの幅員6m以上の道路までの距離*、居住環境の各要素の満足度⑫周辺からの延焼のしにくさ
表70	居住環境の各要素の重要度⑬騒音・大気汚染の少なさ	基本属性、都市計画の地域区分・防火地域*、居住環境の各要素の満足度⑬騒音・大気汚染の少なさ
表71	居住環境の各要素の重要度⑭敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり	基本属性、敷地面積(住宅)*、調査区の建ぺい率*、調査区の容積率*、敷地に接している道路の幅員*、居住環境の各要素の満足度⑭敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり
表72	居住環境の各要素の重要度⑮公園や緑、水辺などの自然環境	基本属性、敷地に接している道路の幅員*、居住環境の各要素の満足度⑮公園や緑、水辺などの自然環境
表73	居住環境の各要素の重要度⑯まちなみ・景観	基本属性、敷地に接している道路の幅員*、居住環境の各要素の満足度⑯まちなみ・景観

Ⅱ 住み替え・改善に関する事項

表番号	表頭	表側
-----	----	----

Ⅱ-1 最近の住み替え・改善に関する事項

(1) 最近の世帯事情の変化

表74	最近の住み替え・改善の状況	基本属性、居住面積水準状況(主世帯)△、最近の世帯人員の増減△、住み替え前の居住形態
表75	最近の住み替え方法	最近の住み替え・改善の状況
表76	住宅タイプ*、住宅取得回数(持家)、住宅の取得方法(持家)*、居住面積水準状況(主世帯)△、地域	基本属性、建築の時期(主世帯)△、住宅の取得方法(持家)*、子との現在の住まい方(家計を主に支える者が65歳以上)*

(2) 住宅及び居住環境の各要素の重要度との関係

表77	最近の住み替えの目的	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)
表78	最近の住み替え・改善の状況	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)

Ⅱ-2 最近住み替えた世帯に関する事項

(1) 最近の住み替えの内容

表79	住み替え前の居住形態	住宅タイプ*、最近の住み替え方法×最近の改善の状況
表80	最近の居住形態の変化*	最近の住み替え方法×最近の改善の状況
表81	最近の住み替えの目的	基本属性、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表82	最近の居住面積の増減△	基本属性、住宅の延べ面積(主世帯)*、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表83	最近の居住室数数の増減*	最近の住み替え方法×最近の改善の状況
表84	持家への住み替えに要した費用	基本属性、最近の住み替え方法×最近の改善の状況
表85	借家などへの住み替えに要した費用	基本属性
表86	住み替え前の住宅の居住期間	基本属性、住み替え前の居住形態

(2) 住宅及び居住環境の各要素の重要度との関係

表87	最近の居住形態の変化*	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)
-----	-------------	-----------------------

(3) 住み替えの満足度

表88	①住み替えの目的に「広さや部屋数」を選択した世帯の「広さや間取り」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度①広さや間取り、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表89	②住み替えの目的に「広さや部屋数」を選択しなかった世帯の「広さや間取り」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度①広さや間取り、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表90	①住み替えの目的に「使いやすさ・性能の向上」を選択した世帯の「収納の多さ、使い勝手」、「水回りの広さ、使い勝手」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度②収納の多さ、使い勝手、③水回りの広さ、使い勝手、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表91	②住み替えの目的に「使いやすさ・性能の向上」を選択しなかった世帯の「収納の多さ、使い勝手」、「水回りの広さ、使い勝手」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度②収納の多さ、使い勝手、③水回りの広さ、使い勝手、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表92	①住み替えの目的に「使いやすさ・性能の向上」を選択した世帯の「維持管理のしやすさ」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑤維持管理のしやすさ、広さ、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*

表番号	表頭	表側
表93	②住み替えの目的に「使いやすさ・性能の向上」を選択した世帯の「維持管理のしやすさ」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑤維持管理のしやすさ、広さ、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表94	①住み替えの目的に「使いやすさ・性能の向上」を選択した世帯の「換気のよさ(臭いや煙などが残らない)」、「日当たり」、「断熱性」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑥換気のよさ(臭いや煙などが残らない)、⑦日当たり、⑧断熱性、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表95	②住み替えの目的に「使いやすさ・性能の向上」を選択しなかった世帯の「換気のよさ(臭いや煙などが残らない)」、「日当たり」、「断熱性」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑥換気のよさ(臭いや煙などが残らない)、⑦日当たり、⑧断熱性、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表96	①住み替えの目的に「居住費負担の軽減」を選択した世帯の「居住費負担」	基本属性、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表97	②住み替えの目的に「居住費負担の軽減」を選択しなかった世帯の「居住費負担」	基本属性、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表98	①住み替えの目的に「安全・治安・周辺施設」を選択した世帯の「災害時の避難のしやすさ」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑪地震時の安全性、⑫台風時の安全性、⑬火災に対する安全性、居住環境の各要素の重要度⑩災害時の避難のしやすさ、⑪水害・津波の受けにくさ、⑫周辺からの延焼のしにくさ、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化
表99	②住み替えの目的に「安全・治安・周辺施設」を選択しなかった世帯の「災害時の避難のしやすさ」満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑪地震時の安全性、⑫台風時の安全性、⑬火災に対する安全性、居住環境の各要素の重要度⑩災害時の避難のしやすさ、⑪水害・津波の受けにくさ、⑫周辺からの延焼のしにくさ、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化
表100	①住み替えの目的に「安全・治安・周辺施設」を選択した世帯の「治安」の満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑭防犯性、居住環境の各要素の重要度⑦治安、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表101	②住み替えの目的に「安全・治安・周辺施設」を選択しなかった世帯の「治安」の満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑭防犯性、居住環境の各要素の重要度⑦治安、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表102	①住み替えの目的に「高齢期の住みやすさ」を選択した世帯の「福祉・介護の生活支援サービス」の満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑩高齢者への配慮、居住環境の各要素の重要度③医療・福祉・文化施設など、④福祉・介護の生活支援サービス、⑥親・子・親せきとの距離、⑨歩行時の安全性、要介護認定者等の有無×高齢者等のための設備状況(主世帯)*、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表103	②住み替えの目的に「高齢期の住みやすさ」を選択しなかった世帯の「福祉・介護の生活支援サービス」の満足度	基本属性、住宅の各要素の重要度⑩高齢者への配慮、居住環境の各要素の重要度③医療・福祉・文化施設など、④福祉・介護の生活支援サービス、⑥親・子・親せきとの距離、⑨歩行時の安全性、要介護認定者等の有無×高齢者等のための設備状況(主世帯)*、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表104	①住み替えの目的に「通勤・通学の利便」を選択した世帯の「通勤・通学の利便」の満足度	基本属性、居住環境の各要素の重要度①通勤・通学の利便、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*

表番号	表頭	表側
表105	②住み替えの目的に「通勤・通学の利便」を選択しなかった世帯の「通勤・通学の利便」の満足度	基本属性、居住環境の各要素の重要度①通勤・通学の利便、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表106	①住み替えの目的に「安全・治安・周辺施設」を選択した世帯の「日常の買物などの利便」、「医療・福祉・文化施設など」の満足度	基本属性、居住環境の各要素の重要度②日常の買物などの利便、③医療・福祉・文化施設など、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*
表107	①住み替えの目的に「安全・治安・周辺施設」を選択しなかった世帯の「日常の買物などの利便」、「医療・福祉・文化施設など」の満足度	基本属性、居住環境の各要素の重要度②日常の買物などの利便、③医療・福祉・文化施設など、最近の住み替え方法×最近の改善の状況、最近の居住形態の変化*

Ⅱ-3 最近改善した世帯に関する事項

(1) 最近の改善の内容

表108	最近の改善の内容	基本属性
表109	最近の高齢者対応リフォームの内容*	基本属性
表110	最近の耐震改修工事	基本属性

(2) 重要度との関係

表111	最近の改善の内容	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)
表112	最近の高齢者対応リフォームの内容*	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)
表113	最近の耐震改修工事	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)

Ⅲ 今後の住まい方に関する事項

Ⅲ-1 今後の住まい方に関する事項

(1) 住み替え意向

表114	今後の住み替え意向	基本属性、腐朽・破損の有無(住宅)*、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、高齢者等のための設備状況(主世帯)*、太陽熱利用の温水機器等の有無(主世帯)*、太陽光を利用した発電機器の有無(主世帯)*、二重サッシ以上又は複層ガラスの窓の有無(主世帯)*、居住面積水準状況(主世帯)△、最寄りの交通機関までの距離*、最寄りの医療機関までの距離*、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離*
表115	今後の住み替え方法(今後または将来の住み替え意向のある世帯、＜特掲＞今後の住み替え意向のある世帯)	基本属性、今後または将来の住み替え・改善意向、＜特掲＞今後の住み替え・改善意向

(2) 満足度・重要度との関係

表116	今後または将来の住み替え・改善意向	住宅及び居住環境の各要素の満足度(全要素)
表117	今後または将来の住み替え・改善意向	住宅及び居住環境の総合満足度×世帯の年間収入階級*
表118	今後または将来の住み替え・改善意向、＜特掲＞今後の住み替え・改善意向	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)

(3) 最近の住み替え・改善との関係

表番号	表頭	表側
表119	今後または将来の住み替え・改善意向、＜特掲＞今後の住み替え・改善意向	最近の住み替え・改善の状況、最近の耐震診断(持家)*

Ⅲ-2 住み替え意向世帯に関する事項

(1) 住み替え意向の内容

表120	住み替え後の居住形態(今後または将来の住み替え意向のある世帯、＜特掲＞今後の住み替え意向のある世帯)	基本属性、今後の住み替え方法
表121	今後の居住形態の変化(同上)	基本属性、今後の住み替え方法
表122	今後の住み替えの目的(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、今後の居住形態の変化
表123	住み替えの実現時期	基本属性、今後の住み替え方法、住み替え後の居住形態、建築の時期(主世帯)△
表124	持家への住み替え上の課題(同上)	基本属性、家計を主に支える者の従業上の地位*、月あたりの住宅ローン返済額、今後の住み替え方法、今後の居住形態の変化、今後の住み替えの目的、世帯の住居費の負担感
表125	借家などへの住み替え上の課題(同上)	基本属性、家計を主に支える者の従業上の地位*、月あたりの住宅ローン返済額、今後の住み替え方法、今後の居住形態の変化、今後の住み替えの目的、世帯の住居費の負担感

(2) 満足度・重要度との関係

表126	今後の居住形態の変化(今後または将来の住み替え意向のある世帯)	住宅及び居住環境の各要素の満足度(全要素)
------	---------------------------------	-----------------------

Ⅲ-3 改善意向世帯に関する事項

(1) 改善意向の内容

表127	今後の改善の内容(今後または将来の改善意向のある世帯、＜特掲＞今後の改善意向のある世帯)	基本属性、今後または将来の住み替え意向、＜特掲＞今後の住み替え意向
表128	今後の改善の目的(同上)	基本属性、今後の改善の内容
表129	改善の実現時期	基本属性、今後の改善の内容、今後または将来の改善意向×建築の時期(主世帯)△
表130	リフォーム上の課題	基本属性、家計を主に支える者の従業上の地位*、月あたりの住宅ローン返済額、今後のリフォームの内容、今後の改善の目的、世帯の住居費の負担感
表131	建て替え上の課題	基本属性、家計を主に支える者の従業上の地位*、月あたりの住宅ローン返済額、今後の改善の目的、世帯の住居費の負担感

(2) 満足度・重要度との関係

表132	今後の改善の内容(同上)	住宅及び居住環境の各要素の重要度(全要素)
------	--------------	-----------------------

Ⅲ-4 住み替え意向のない世帯に関する事項

(1) 意向のない理由等

表133	住み続けたい理由	基本属性、家計を主に支える者の従業上の地位*、月あたりの住宅ローン返済額
表134	現在の住宅の処分方法	基本属性、敷地の所有の関係*、敷地の取得時期(所有地・借地)*、敷地の権利取得の相手方(所有地・借地)*、子との現在の住まい方*、高齢期における子との住まい方

表番号	表頭	表側
-----	----	----

(2) 満足度・重要度との関係

表135	住み替え意向のない理由	住宅及び居住環境の各要素の満足度(全要素)
------	-------------	-----------------------

(3) 最近の住み替え・改善との関係

表136	住み替え意向のない理由	最近の住み替え・改善の状況、最近の耐震診断(持家)*
------	-------------	----------------------------

IV 現住居以外の住宅に関する事項

(1) 現住居以外の住宅の有無・利用状況

表137	現住居以外の住宅の有無・取得方法*	基本属性、今後の住み替え方法
表138	住宅の種類(所有している世帯)	基本属性、今後の住み替え方法

(2) 相続する可能性のある住宅

表139	相続する可能性のある住宅	基本属性、今後の住み替え方法
表140	建て方(相続する住宅がある世帯・最も古い)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表141	所要時間(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表142	公共交通の距離(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表143	建築の時期(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表144	活用意向(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、建築の時期
表145	建て方(相続する住宅がある世帯・2番目に古い)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表146	所要時間(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表147	公共交通の距離(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表148	建築の時期(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表149	活用意向(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、建築の時期
表150	建て方(相続する住宅がある世帯・2番目に古い)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表151	所要時間(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表152	公共交通の距離(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表153	建築の時期(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、活用意向
表154	活用意向(同上)	基本属性、今後の住み替え方法、建築の時期

V 子との住まい方などに関する事項

(1) 子育ての環境

表155	子育てにおいて重要な要素(家族構成のうち親と子(長子17才以下)*)	基本属性、最寄りの医療機関までの距離*、最寄りの公園までの距離*、最寄りの保育所までの距離*、最寄りの小学校までの距離*、最寄りの中学校までの距離*
------	------------------------------------	--

表番号	表頭	表側
表156	子育てにおいて重要な要素(同上)	住宅及び居住環境の各要素の満足度(全要素)

(2)子との住まい方

表157	高齢期における子との住まい方	基本属性、高齢者等のための設備状況(主世帯)*、今後または将来の住み替え・改善意向、住み替え後の居住形態、子の住んでいる場所*
表158	今後の子との住まい方の変化△	基本属性、高齢者等のための設備状況(主世帯)*、今後または将来の住み替え・改善意向、住み替え後の居住形態、持家への住み替え上の課題

Ⅵ 要介護認定に関する事項

(1)要介護認定者

表159	要介護認定者等の有無	基本属性、高齢者等のための設備状況(主世帯)*、エレベーターの有無・防犯状況(共同住宅)*、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、最寄りの医療機関までの距離*、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離*
------	------------	---

Ⅶ 住居費に関する事項

(1)住居費

表160	月あたりの住宅ローン返済額	基本属性、居住面積水準状況(主世帯)△、住宅の取得方法(持家)*
表161	月あたりの管理費等(持家の共同住宅)	基本属性、住宅の取得方法(持家)*
表162	住居費負担に対する評価	基本属性、居住面積水準状況(主世帯)△、高齢者対応型共同住宅の別(共同住宅)*、世帯の年間収入階級*×年間住宅ローン返済額(持家)、月あたりの家賃及び共益費等(借家)*、延べ面積1㎡あたり家賃及び共益費等(借家)*、住宅の取得方法(持家)、最近の住み替え・改善の状況、住み替え意向、住み替え上の課題

(2)維持管理

表163	住宅の点検等の依頼先	基本属性、今後または将来の住み替え・改善意向、住み替え後の居住形態、持家への住み替え上の課題
------	------------	--